

令和8年度東京都立田園調布特別支援学校年間指導計画

学年・類型・学級・グループ		2・3年・重度・重複学級・普通学級Ⅰ類型		担当者名	〇濱 裕子
教科・領域名		作業学習・ランドリー班			
ね ら い		(1)仕事の手順を理解して、責任をもって取り組むことができる。 (2)共同作業を通して、コミュニケーションの力を育て、円滑に仕事をするすることができる。 (3)仕事をとおして達成感や自己有用感を高め、働く喜びを味わう。			
曜日・校時・時間		火曜日・2～7時間目・9:20～15:05 木曜日・2～5時間目・9:20～12:30			
指導場所		ランドリー室			
年間授業時数		318.3 時間			
使用教科書		なし			
月	単元(題材)名	指導 時数	〇ねらい □主な学習内容(評価の観点)	指導の工夫	
4	ランドリー班の1日の流れを覚えよう	30.1	〇入室後の身支度・準備から、作業終了後の片付け等、1日の流れを覚える。 □入室後の身支度・準備の手順を覚える(知識・技能) □必要な場面で挨拶や報告の言葉を使うことができる。(思考・判断・表現) □1日の流れに沿って作業に取り組もうとしている。(主体的に取り組む態度)	・準備のための手順表を準備する。 ・場面ごとに挨拶カード・報告カードを提示する。 ・1日の流れを視覚表示する。	
5	作業内容を理解しよう	30.5	〇作業手順が分かり、安全や衛生についてのルールを守って作業できる。 <配達・回収> □必要な挨拶の言葉を覚える。(知識・技能) □場面に応じた挨拶をすることができる。(思考・判断・表現) □準備、回収物の受け渡しを自ら行おうとする。(主体的に学習に取り組む態度) <干し・たたみ・車手洗い> □道具の使い方、洗濯物の扱うときのルールを知る。(知識・技能) □必要な道具を準備することができる。(思考・判断・表現) □自分で道具の準備・片付けを行おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)	・基本的なルールは作業前に毎回、視覚的に提示する。 ・作業ごとの工程表を作成する。 ・必要な言葉のカードを用意する。	
6		41.5	<アイロン掛け> □アイロンの取り扱いと準備の手順を覚える。(知識・技能) □安全に注意し取り扱うことができる。(思考・判断・表現) □準備・片付けまで自分で行おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		
7		21			
9	継続して作業しよう	26.7	〇作業に慣れ、一定時間、継続して作業することができる。 □各作業の準備から片付けまでの流れが分かる(知識・技能) □休憩を含めた時間の見通しもち、集中して作業できる。(思考・判断・表現) □決まった時間まで、継続して作業しようとしている(主体的に学習に取り組む態度)	・作業を開始する際は、全員で声を合わせ意識する。 ・チャイムで休憩には入れるよう、作業量を調整する。	
10		30.5			
11	丁寧に作業をしよう	24.5	〇態度や作業の仕上がりに対し、丁寧さを意識して、作業できる。 <配達・回収> □受け渡しを両手で行うことができる。(知識・技能) □洗濯物を落とさないように受け渡しができる。(思考・判断・表現) □相手を意識し、丁寧に受け渡そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) <たたみ> □手アイロンでしわを伸ばすことができる。(知識・技能) □たたみ終わった物を両手で置く。崩れないように重ねる。(思考・判断・表現) □洗濯物をきれいに、丁寧にたたもうとする。(主体的に学習に取り組む態度) <干し> □洗濯物をしっかり振ってしわを伸ばすことができる。(知識・技能) □間隔やバランスを考えて干すことができる。(思考・判断・表現) □仕上がりを考えきれいに干そうとしている。(主体的に学習に取り組む態度) <アイロンかけ> □手アイロンで洗濯物のしわをなくすことができる。(知識・技能) □適切な向きにアイロンがけることができる。(思考・判断・表現) □仕上がりを意識してアイロンをかけようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)	・各作業の細かいポイントは教員が手本を見せる。 ・文字や写真で分かりやすく提示する。	
12		36			
1		23.5			
2	協力して作業をしよう	22	〇作業をとおしてコミュニケーションをとりながら取り組む。 □相手の名前を読むなど、周囲を意識することができる。(知識・技能) □互いに言葉を掛け合い作業することができる(思考・判断・表現) □チームで協力して作業に取り組む。(主体的に学習に取り組む態度)	・ペアまたはチームを組んで作業する場面を設定する。	
3		32			
備考		※通年、身だしなみの確認に取り組む、社会人として必要なスキルを身に付ける。			